

# 中小企業景況調査報告書

2021年1～3月期実績

2021年4～6月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2021年1～3月期の実績及び2021年4～6月期見通し

②調査期間：2021年2月19日～3月1日 ※調査時点は2021年3月1日

### (2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

### (3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、大樹町、広尾町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、釧路町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

### (4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	50	98.0%	小売業	90	84	93.3%
建設業	48	45	93.8%	サービス業	111	102	91.9%
				合計	300	281	93.7%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

### (5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

## 2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比				今 期 比	
	今期	来期見込	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	今期	来期見込
製造業	▲ 44.0	▲ 27.0	▲ 32.6	▲ 52.1	▲ 24.5	▲ 22.9	▲ 27.6	▲ 6.4
建設業	▲ 15.6	▲ 7.0	▲ 19.5	▲ 13.3	▲ 12.8	▲ 7.0	▲ 18.6	▲ 13.6
小売業	▲ 50.6	▲ 40.0	▲ 46.6	▲ 56.1	▲ 54.1	▲ 32.0	▲ 47.5	▲ 29.5
サービス業	▲ 68.0	▲ 37.4	▲ 37.8	▲ 70.0	▲ 31.0	▲ 40.3	▲ 62.0	▲ 24.7

### 3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 4-6	R2. 7-9	R2. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	2.0	6.3	2.2	13.3	10.4	6.4	14.9
	不変	52.0	60.4	43.5	48.9	56.3	59.6	63.8
	悪化した	46.0	33.3	54.3	37.8	33.3	34.0	21.3
	D・I	▲ 44.0	▲ 27.0	▲ 52.1	▲ 24.5	▲ 22.9	▲ 27.6	▲ 6.4
売上(加工)額	増加した	6.0	10.0	18.8	29.2	22.4	12.8	
	不変	36.0	44.0	27.1	27.1	38.8	14.9	
	減少した	58.0	46.0	54.1	43.7	38.8	72.3	
	D・I	▲ 52.0	▲ 36.0	▲ 35.3	▲ 14.5	▲ 16.4	▲ 59.5	
資金繰り	好転した	2.0	8.2	0.0	4.3	2.1	2.2	
	不変	75.6	63.2	52.2	63.1	78.8	73.9	
	悪化した	22.4	28.6	47.8	32.6	19.1	23.9	
	D・I	▲ 20.4	▲ 20.4	▲ 47.8	▲ 28.3	▲ 17.0	▲ 21.7	
原材料仕入単価	上昇した	26.0	26.0					
	不変	70.0	72.0					
	低下した	4.0	2.0					
	D・I	22.0	24.0					
採算(経常利益)	好転した	2.0	6.0					
	不変	50.0	60.0					
	悪化した	48.0	34.0					
	D・I	▲ 46.0	▲ 28.0					

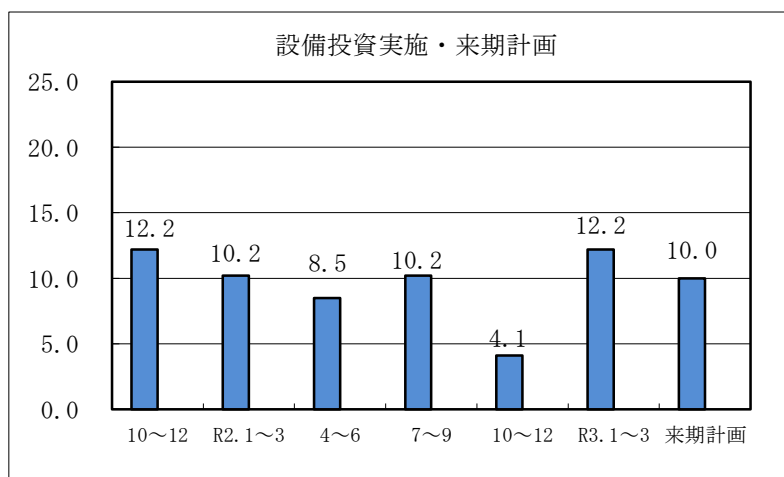
#### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

##### 【今期実施内容】

回答50事業所の内、6事業所(10.0%)が実施。●生産設備=3事業所、●車両運搬具=1事業所、●工場建物=1事業所、●福利厚生施設=1事業所

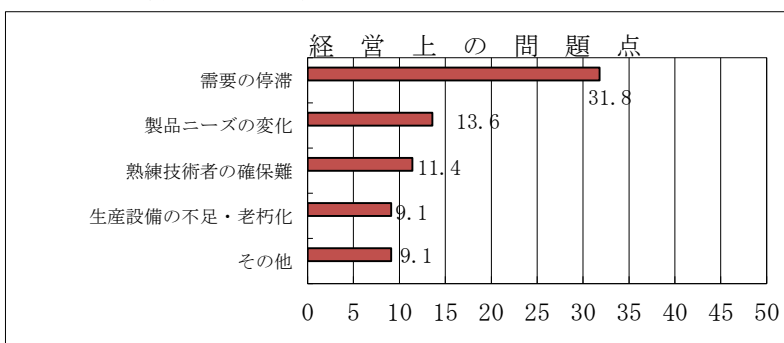
##### 【来期計画内容】

回答50事業所の内、来期に5事業所(10.0%)が計画。●生産設備=2事業所、●車両運搬具=1事業所、●付帯設備=2事業所



#### ○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様「需要の停滞」だが前回より14.5ポイント減少している。2位は「製品ニーズの変化」で前回より6.3ポイント増加している。3位は前回番外の「熟練技術者の確保難」で6.5ポイント増加した。4位は「生産設備の不足・老朽化」で前回より8.0ポイント減少した。5位は「原材料価格の上昇」で0.2ポイント減少した。また、前回4位の「従業員の確保難」と5位の「原材料価格の上昇」はともに番外となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 4-6	R2. 7-9	R2. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	13.3	18.6	6.7	10.6	9.3	11.6	11.4
	不変	57.8	55.8	73.3	66.0	74.4	58.2	63.6
	悪化した	28.9	25.6	20.0	23.4	16.3	30.2	25.0
	D・I	▲ 15.6	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 12.8	▲ 7.0	▲ 18.6	▲ 13.6
完成工事 (請負工 事) 額	増加した	13.3	18.2	31.1	36.2	28.3	20.9	
	不変	48.9	59.1	31.1	34.0	41.3	37.2	
	減少した	37.8	22.7	37.8	29.8	30.4	41.9	
	D・I	▲ 24.5	▲ 4.5	▲ 6.7	6.4	▲ 2.1	▲ 21.0	
資金繰り	好転した	11.4	14.0	6.8	13.0	6.7	2.4	
	不変	77.2	69.7	72.7	74.0	80.0	80.5	
	悪化した	11.4	16.3	20.5	13.0	13.3	17.1	
	D・I	0.0	▲ 2.3	▲ 13.7	0.0	▲ 6.6	▲ 14.7	
材 料 仕入単価	上昇した	25.0	20.9					
	不変	72.7	76.8					
	低下した	2.3	2.3					
	D・I	22.7	18.6					
採算(経 常利益)	好転した	6.7	11.4					
	不変	68.9	61.3					
	悪化した	24.4	27.3					
	D・I	▲ 17.7	▲ 15.9					

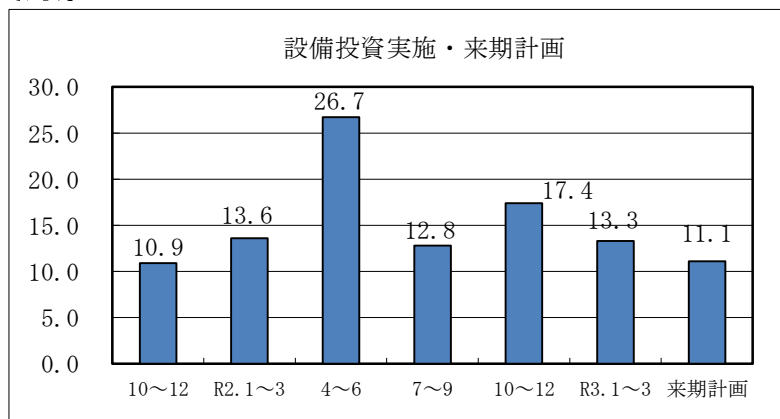
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答45事業所の内、7事業所(15.5%)が実施。●土地・OA機器=各1事業所、●建設機械=3事業所、●車両・運搬具=2事業所

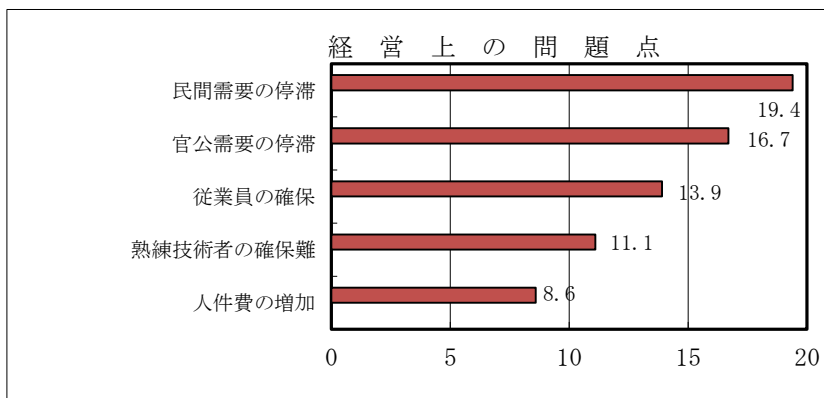
【来期計画内容】

回答45事業所の内、来期は5事業所(11.1%)が計画。●土地、建物、建設機械=各1事業所、●OA機器=2事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回2位の「民間需要の停滞」で前回より2.7ポイント増加している。2位は前回1位の「官公需要の停滞」で2.7ポイント減少した。3位は「従業員の確保難」で前回と同ポイントであった。4位の「熟練技術者の確保難」は、2.4ポイント増加し、5位の「人件費の増加」は2.5ポイントの減少であった。



## 小 売 業

### 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 4-6	R2. 7-9	R2. 10-12	今期	来期見込
業 況	好転した	4.8	6.3	3.8	0.0	6.7	6.4	11.5
	不 変	39.8	47.4	36.3	45.9	54.6	39.7	47.5
	悪化した	55.4	46.3	59.9	54.1	38.7	53.9	41.0
	D・I	▲ 50.6	▲ 40.0	▲ 56.1	▲ 54.1	▲ 32.0	▲ 47.5	▲ 29.5
売上額	増加した	8.4	13.3	10.8	21.7	18.3	8.4	
	不 変	32.5	37.3	34.9	34.9	40.2	37.3	
	減少した	59.1	49.4	54.3	43.4	41.5	54.3	
	D・I	▲ 50.7	▲ 36.1	▲ 43.5	▲ 21.7	▲ 23.2	▲ 45.9	
資金繰り	好転した	3.6	2.4	0.0	0.0	4.9	3.6	
	不 変	59.1	65.9	59.8	68.3	74.4	65.1	
	悪化した	37.3	31.7	40.2	31.7	20.7	31.3	
	D・I	▲ 33.7	▲ 29.3	▲ 40.2	▲ 31.7	▲ 15.8	▲ 27.7	
商 品 仕入単価	上昇した	18.1	10.8					
	不 変	75.9	83.2					
	低下した	6.0	6.0					
	D・I	12.1	4.8					
採算(経 常利益)	好転した	2.4	4.8					
	不 変	42.2	57.9					
	悪化した	55.4	37.3					
	D・I	▲ 53.0	▲ 32.5					

### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

#### 【今期実施内容】

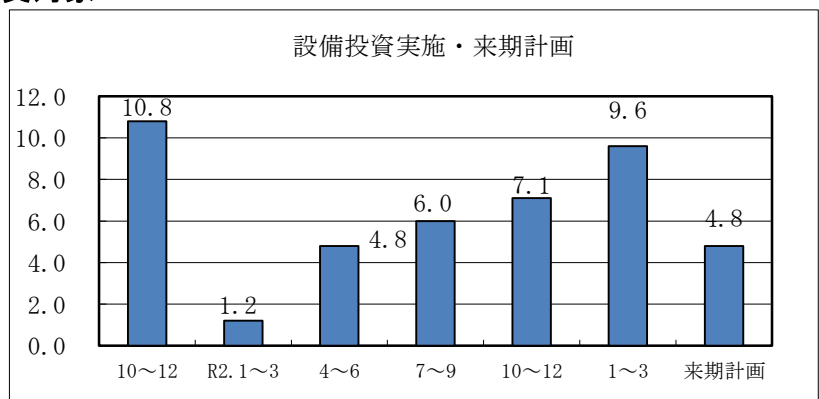
回答84事業所の内、8事業所(9.5%)が実施。

●店舗、その他=各1事業所、●  
車両・運搬具=4事業所、●OA機  
器=2事業所

#### 【来期計画内容】

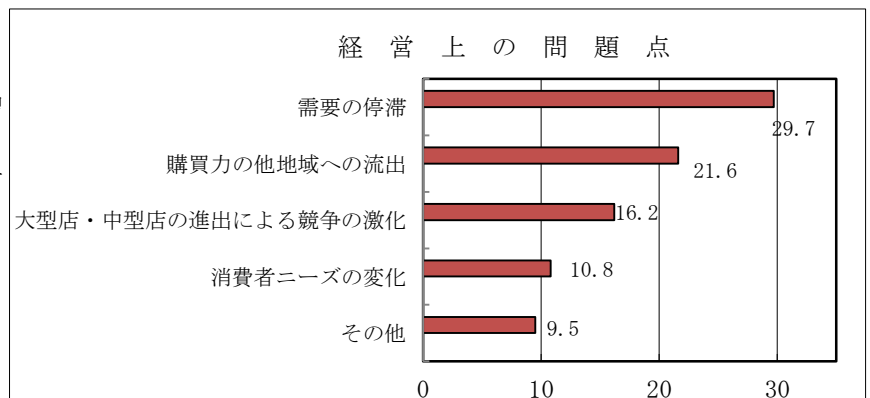
回答84事業所の内、来期は5事  
業所(5.9%)が計画。

●店舗、車両・運搬具=各2事業  
所、●販売設備=1事業所



### ○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回の1位も「需要の停滞」であつたが、前回から0.2ポイント減少した。2位も前回と同じく「購買力の他地域への流出」で前回より0.8ポイント増加した。3位も変わらず「大型店・中型店の進出による競争の激化」でこちらも1.9ポイント増加した。4位と5位の順位が入れ替わり、4位の「消費者ニーズの変化」は前回より4.3ポイント増加した。5位の「その他」は0.9ポイントの減少となっている。



## サービス業

### 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前期比				
		今期	来期見込	R2. 4-6	R2. 7-9	R2. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	2.0	9.1	0.0	15.0	7.1	1.1	9.3
	不変	28.0	44.4	30.0	39.0	45.5	35.8	56.7
	悪化した	70.0	46.5	70.0	46.0	47.4	63.1	34.0
	D・I	▲ 68.0	▲ 37.4	▲ 70.0	▲ 31.0	▲ 40.3	▲ 62.0	▲ 24.7
売上(収入)額	増加した	14.0	3.8	3.7	26.4	12.1	6.1	
	不変	24.3	34.0	19.6	30.2	38.3	29.6	
	減少した	61.7	62.2	76.7	43.4	49.6	64.3	
	D・I	▲ 47.7	▲ 58.4	▲ 73.0	▲ 17.0	▲ 37.5	▲ 58.2	
資金繰り	好転した	1.9	0.0	0.0	7.8	2.8	1.0	
	不変	54.2	56.1	48.1	62.1	58.9	54.1	
	悪化した	43.9	43.9	51.9	30.1	38.3	44.9	
	D・I	▲ 42.0	▲ 43.9	▲ 51.9	▲ 22.3	▲ 35.5	▲ 43.9	
仕入単価(材料等)	上昇した	18.8	16.2					
	不変	73.3	76.7					
	低下した	7.9	7.1					
	D・I	10.9	9.1					
採算(経常利益)	好転した	2.9	7.0					
	不変	28.4	45.0					
	悪化した	68.7	48.0					
	D・I	▲ 65.8	▲ 41.0					

### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

#### 【今期実施内容】

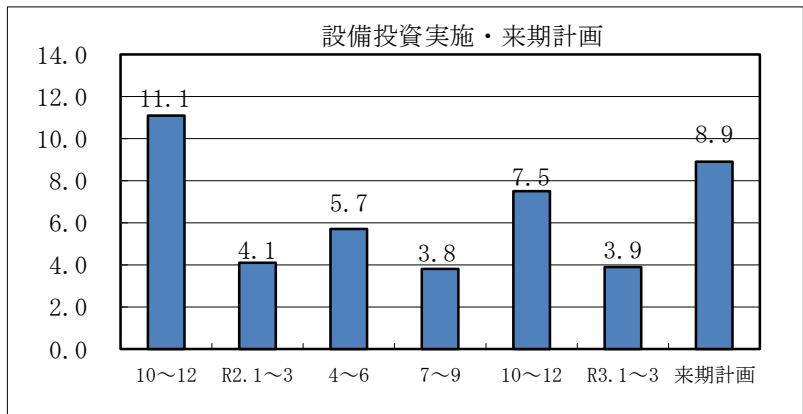
回答102事業所の内、4事業所(3.9%)が実施。

●サービス=2事業所、●付帯施設=1事業所、●その他=1事業所

#### 【来期計画内容】

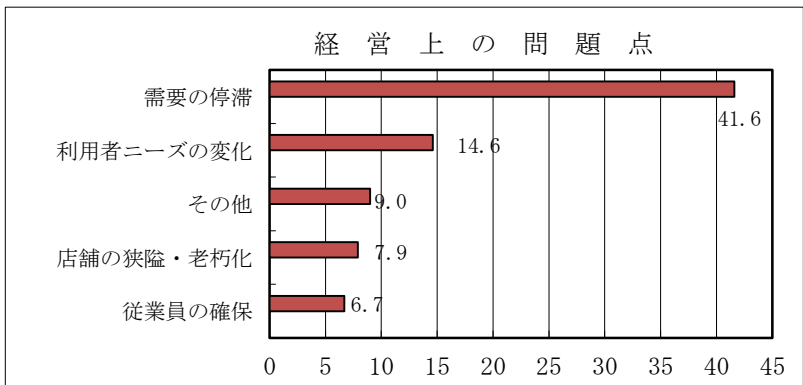
回答102事業所の内、9事業所(8.8%)が計画。

●土地=1事業所、●建物=3事業所、●サービス=4事業所、●OA機器=2事業所、●その他=1事業所



### ○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回と同じく「需要の停滞」で6ポイント増加した。2位も前回と同じく「利用者ニーズの変化」で0.2ポイントの増加。3位は前回4位の「その他」だが前回より2.1ポイント減少した。4位は前回3位の「店舗の狭隘・老朽化」で3.2ポイント減少した。5位は前回番外であった「従業員の確保」が前回と同ポイントで、前回の5位の「材料等仕入れ単価の上昇」は5.5ポイント減少し番外となっている。



#### 4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

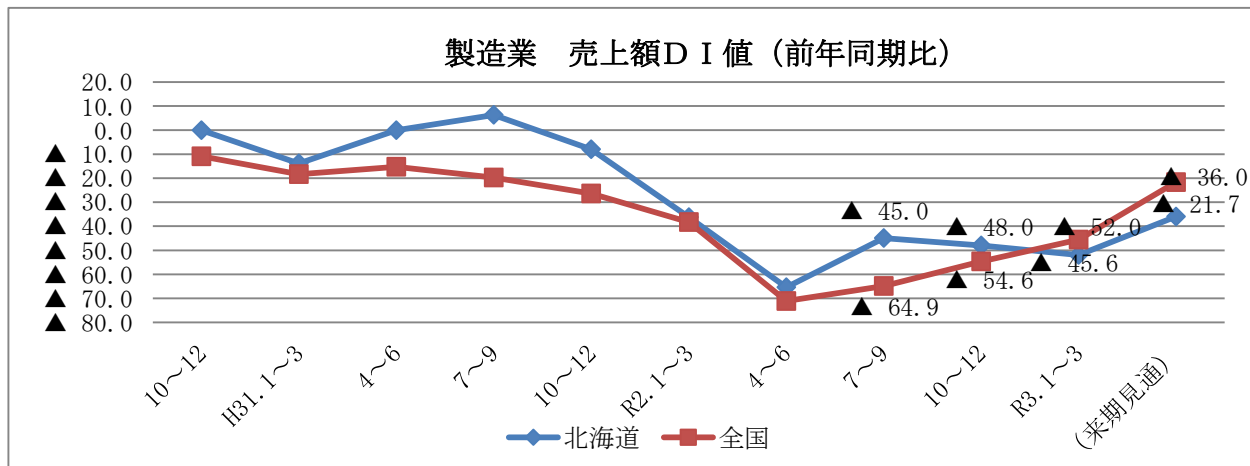
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

##### 製造業

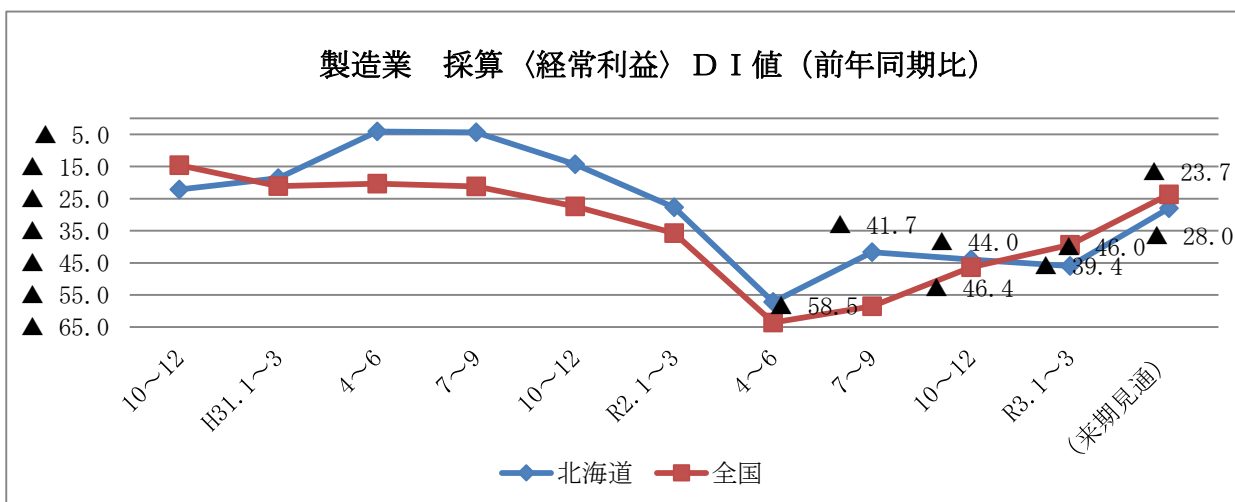
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

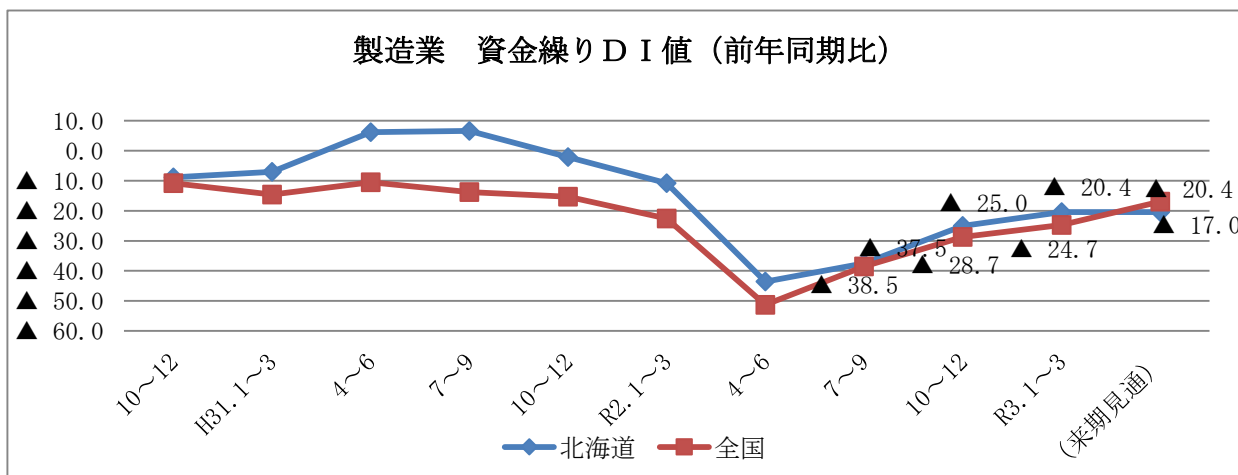
##### 売上額



##### 採算



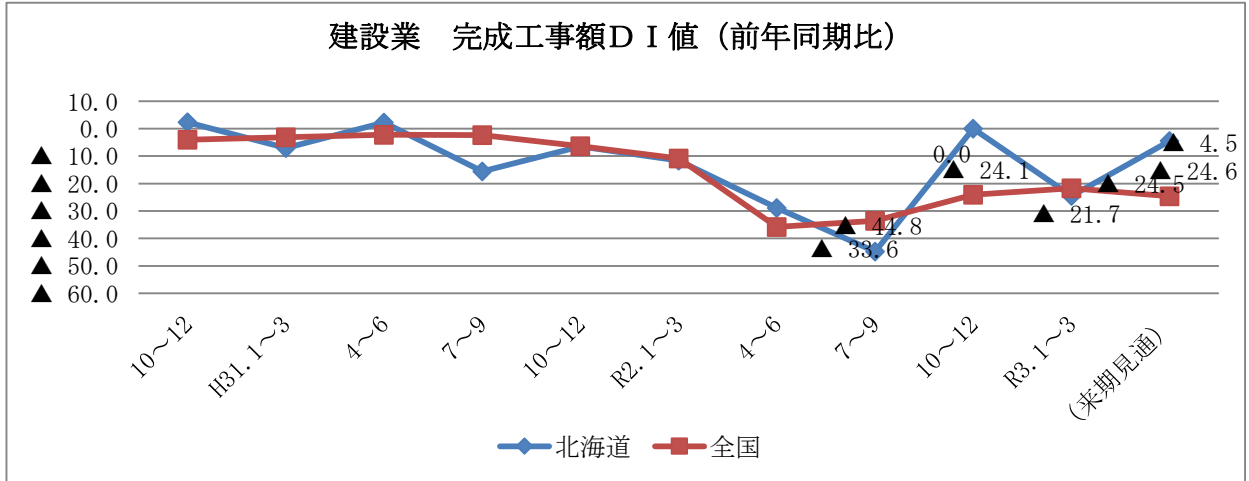
##### 資金繰り



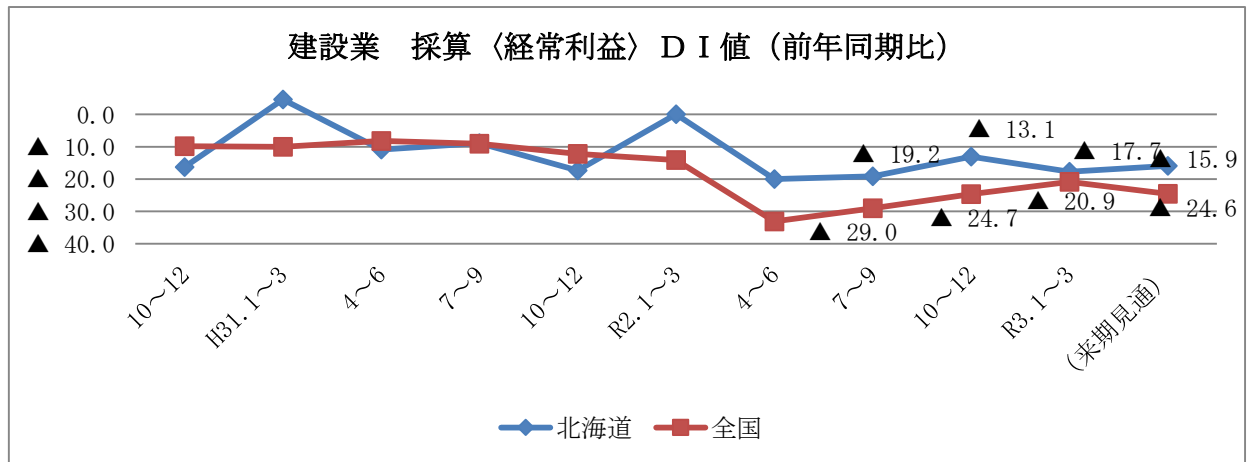
**建設業**

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・上昇、採算▲DI値・・・上昇、資金繰り▲DI値・・・減少  
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

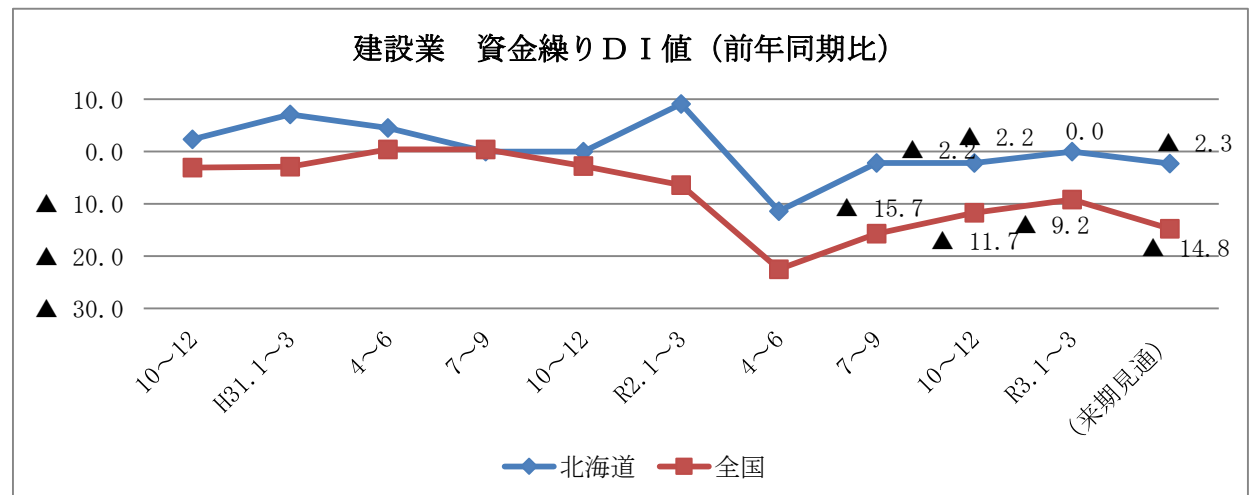
完成工事額



採算



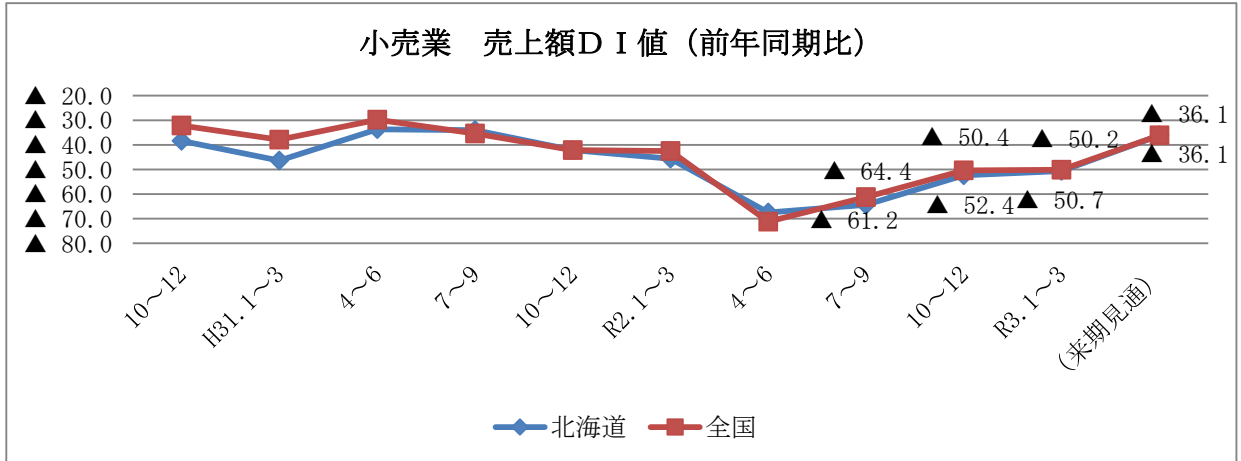
資金繰り



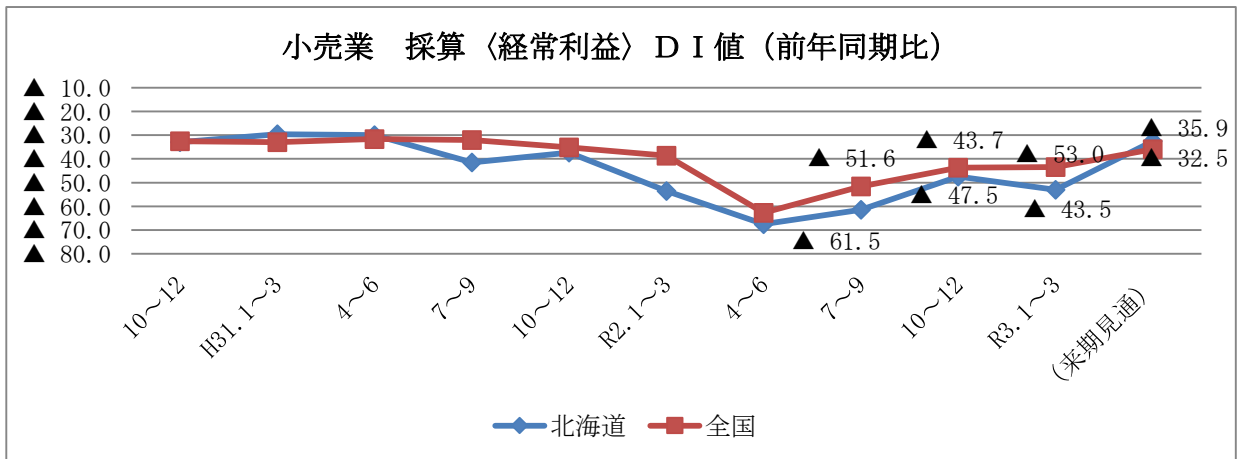
**小売業**

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

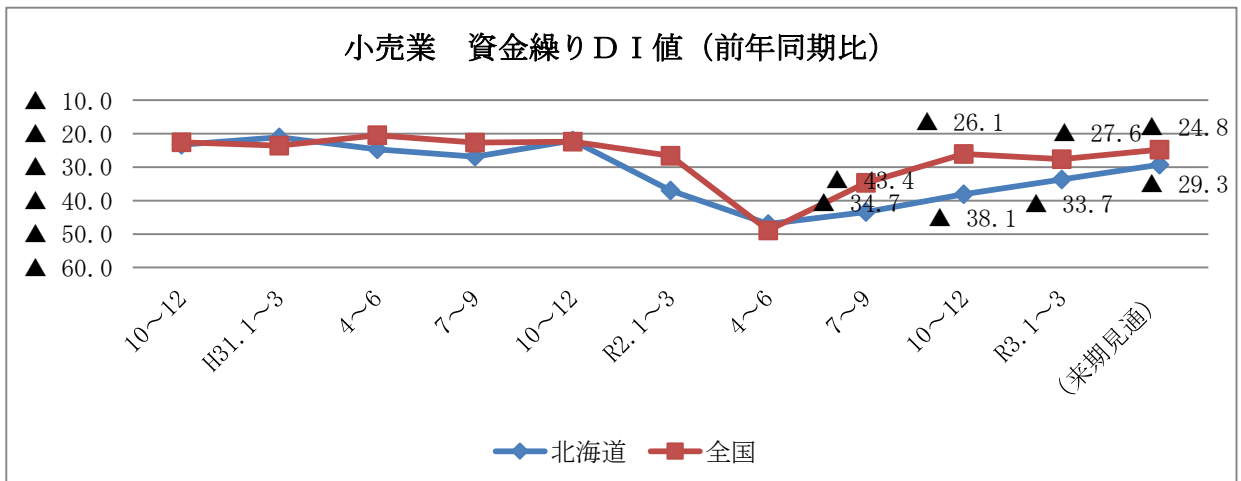
売上額



採算



資金繰り

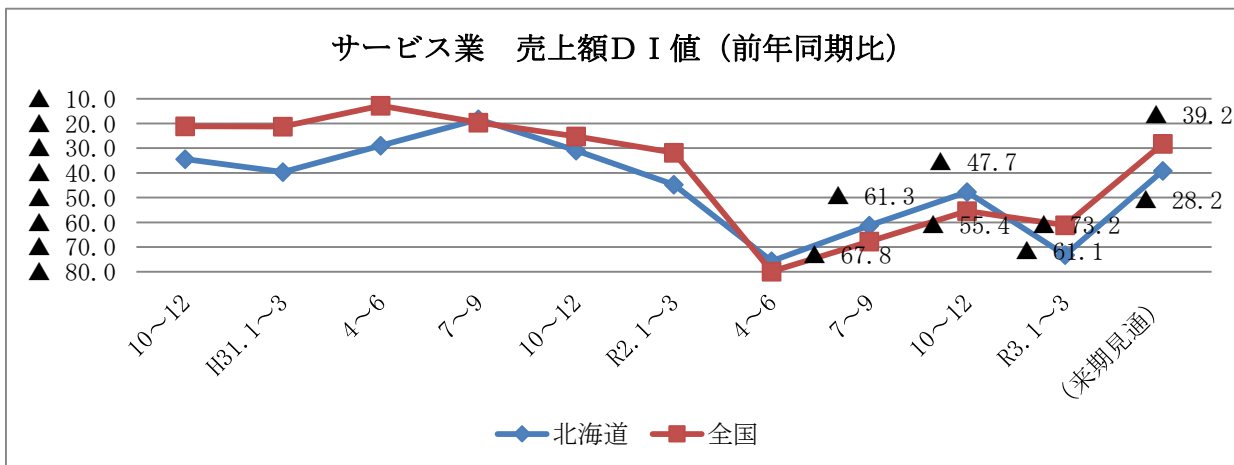




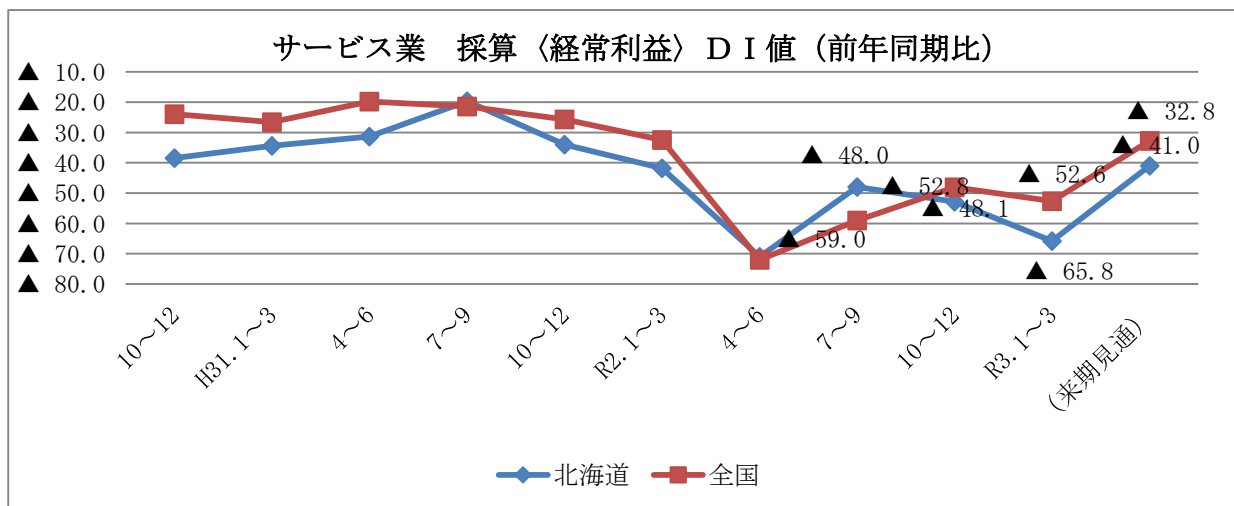
## サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

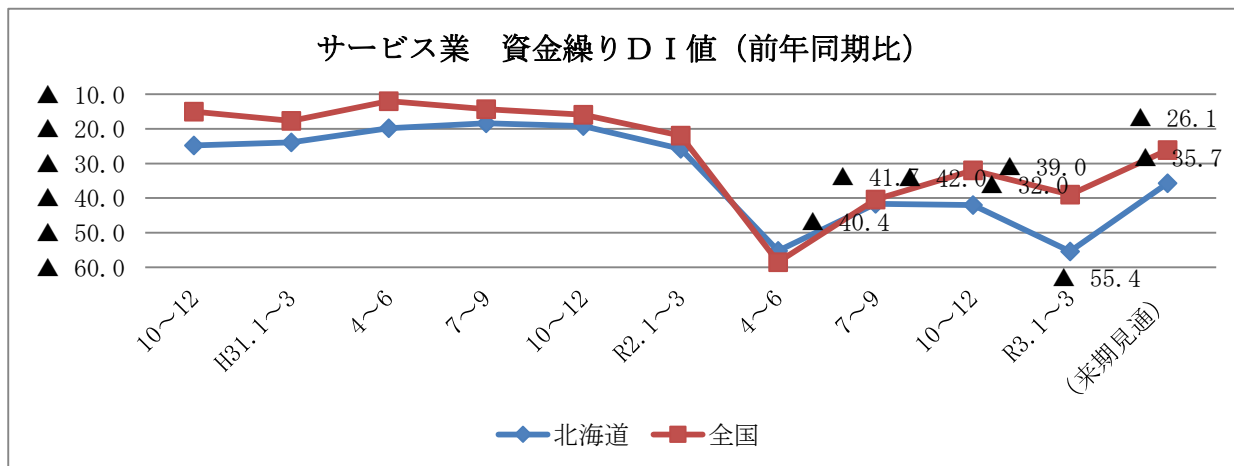
### 売上額



### 採算



### 資金繰り



## 5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●トンネル用支保工の加工を行っておりますが元請けに加工額を勝手に決められてしまい低利状態のまま行っているところ。値上げを要求しても上げさせてもらえないため我慢するしかありません。正直厳しいです。●長引くコロナの影響なのかは定かではありませんが、発注量の激減、固定客の減、客単価の減が感じられる。今後求められている製品や原料を提供できる様、工夫が必要だ。●コロナウイルスの影響がここまで長引くとは正直思わなかった。飲食関係はもちろんだが、イベントや催事が全くないので商品の動きが悪くロスになる。物も人も流れが全くない。●コロナ禍と雪の影響から消費の伸びは弱く、春まで足踏み状態かと思える。●緊急事態宣言の影響がやはり大きいと思います。スキー等のお客様がかなり減っていると感じます。●弊社は近年、働き方改革に伴い「長時間労働の改善」や「休日取得の推進」に力を入れています。その結果、自社の売上げの一部をしめていた休日の出勤対応が減ったため、売上に少なからず影響したと考えています。●高齢になり、将来に不安。事業承継する気はない。</p>
建設業	<p>●コロナ貸付に伴い運転資金の貸出は緩和しつつも、設備投資等の事業資金貸出面は、鈍いことから、少ない案件を複数企業で取合うこととなるので、収支の鈍化は避けられず、体力の削りあいが始まると考えております。●今般、コロナの問題が地方に広がってきているのが心配です。●コロナの為、主力工事工期が1年延期され、売上見込みが確保できなかつたが、営業活動により7月から工事が増加し、年間売上では前年より増加した。●コロナの緊急融資制度もあって運転資金は確かに確保できているものの、あくまで借金であるため老成円熟とまではいかないものの、ゼロ国債での発注に向け虎視眈々と迅速果断の行動により仕事量を確保していく予定です。●建設業においてもコロナ禍の影響がじわりじわりとやってきて、材料の不足そして市町村の予算減による、公共工事の減という形で影響が出てきた。来期も明るい感じはせず、耐える年になりそうだ。</p>
小売業	<p>●新型コロナウイルスの影響、昨年3月の雪解けの速さによる客数の減少から一周し、好転に向かうと考えた時に自社でのコロナウイルス感染者の発生により、3月に起こるだろう売上・客数の減少に対する早期回復が鈍い。●店頭ではなくネットでの購入が増している。●コロナ発生後すべてが低迷しています。問屋のイベントもボツボツ始まっていますが、誘ったお客が不安を感じている為、会場まで出向けません。この状況いつまで続くのでしょうか。●コロナ・大雪のため1・2月は売上減です。コロナが終息しない限り平常に戻れない気がします。●観光客が大幅に減少したことによる売上げの減少。●昨年よりも、さらに状態は減少傾向にあり資金繰りも良くなく、代替イベント等も終わりこの閑散期を乗り切る方法が悩みどころです。●コロナの影響で各種イベント等が軒並み中止になり、また葬儀の形態が変化し、当店の売上が減少して大変困っています。●コロナの影響がどこまで続くのかが気がかり。観光客の戻りに期待しているが不透明な状況。外販は動き出しているので拡販に期待したい。</p>

●行事がないことにより、コロナ禍で来店サイクルが長くなり、忙しい時とヒマな時の落差が大きい。●コロナにつける。近くでコロナが増えれば客も出前も来なくなり、緩むと客も出前も来る。元々ギリギリで経営しており売り上げが落ちる分、貯金が減っていくだけ。●当社はコロナの影響はあまりないが、社員の誰かがコロナにかかった時のことを考え、休業補償の保険に加入した。商工会の補助金でトイレをコロナ感染防止仕様に変えたり、店舗入口に消毒液を置いたり対策中。●コロナウイルスが終息しない限り収入回復は見込めない状況にある。●コロナの影響は今後も続くと思う。田舎は特に自粛のムードは変わらない。●引き続きコロナの影響あり。高齢者の来店数が減ったのと、本来12月・1月は忙しい時期ですがコロナの影響で来客がないため美容室の需要が薄かった。●新型コロナウイルス感染拡大の影響により売り上げが減少したが、持続化給付金の対象になる程の減少ではなかったため支援を受けることができず業況が悪化している。●少子高齢化の影響からか年々客数が減少している。●コロナ禍による催事などの減少による売上減少と考えられる。●前期から新聞販売業を新たに始めたため、前年同期と比べて売上が増加している。ただ、ガソリン代などの経費も増加しており、資金が必要になっているが、コロナ融資で300万借入しているため、資金繰りは問題ない。●直接的に大きく悪化していないので「不変」と報告したが、間接的にはコロナ禍の影響はある。人員確保及び高齢化している従業員の今後を考えるならば、世の求職者（失業者）の円滑なる就活に期待をしたい。●外食に出ないのが当たり前になってきている。来店しても食事だけで単価が伸びない。テイクアウト、出前では単価が低い。公務員、会社等が積極的に宴会などに利用してほしい。●新型コロナウイルスにより会社の営業方法や感染対策をしっかりしないとお客様離れや新規顧客の獲得が難しい当社の事業に関しては、今のところ大きな売上減少にはないが、長い目で見ると対策が必要。●新型コロナウイルスのため団体様が減少した為、個人経営とはいえ家賃や従業員給料等毎月の支払いが困難な状況になって来ています。この状況をどうにか回避出来る様にお弁当等努力がまだまだ必要に思っています。●コロナの影響をそこまで受けていないのは、理美容店からコロナが出てない事がよかったですと思います。●まだコロナが落ち着いていない中、人件費を上げるといわれても単価を簡単にあげる事にはならない。お客様の足並みが落ち着いていないので売上も想定できない不安で、これで税金があがるとまた客足が遠ざかると思う。老後が不安。●コロナの影響は未だ大きい。十勝でも感染者が増えた時期は特に来客が減った。●法要や宴会の需要減に加え、フリーで来店するお客様が減少している。おおよそ75%程度（前年比）の売上。厳しい状況が4月以降も続くと思っている。●人口減少により、客数が激減し、売上が年々減少しているため。●コロナによるお客様の年間の来店回数の減少による売り上げの低下も1年がたち、低め安定の傾向にあります。前年より10～15%の低下で横ばいで推移しています。●コロナで全てのイベントがなくなりすべて減少している。●コロナ禍で全ての事に節約ムードがあり、様々な業界にも影響が出ているのでは？年齢層が高いので客単価が下がっているのが一番。●コロナ禍の中、時短と外出自粛要請で売上が見込めないためどうしようもないです。